



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・ご自身の試料（血液・髄液等）や情報を提供したくない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で

アルツハイマー病、軽度認知機能障害と診断された方、特に疾患のない方

【研究課題名】

神経変性疾患患者様由来血液ならびに脳脊髄液中の各種タンパク質の測定系構築および探索評価に関する研究

【研究責任者】

平松直樹（エーザイ株式会社）

【本研究の目的及び意義】

認知症は様々な種類が存在することがわかってきましたが、その原因や治療法は完全には明らかになっていません。今回の研究は、脳脊髄液や血液に存在する微量タンパク質の測定方法を開発し、認知症の原因究明や診断方法の開発を目指しています。これにより、認知症に対する新たな治療方法の開発に繋がります。

【本研究に提供する試料・情報】

血液（血漿）、髄液

性別、年齢、診断名、既往歴、家族歴、服薬情報、採取時期、髄液測定結果、心理検査結果

提供する試料・情報の取得の方法：バイオバンクにおいて広範な同意を得て収集した試料・情報

【研究期間】

提供後～2027年3月31日

【試料・情報等扱う機関】

なし

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail: biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)